家族や身近な人との関係を見つめ直し、
人権や差別について話し合う機会を持ちましょう。

人権作文

人との触れあいを通して

阿蘇中学校　三年
山本　愛花（あいか）

私は七月に、九州豪雨で被害にあった人吉にボランティアに行きました。私は、誰かがやってくれるだろうと思っていて、最初行く気はありませんでした。しかし、ニュースなどで被災した現場などを見たり、行方不明や亡くなっている人がいると聞いたりする中で、とても心が痛くなり、少しでも被災されたみなさんに、笑顔で安心して暮らせるようにとボランティアに行きました。車で行っている途中で、家具が流されていたり、川の橋が崩れていたりしているのを見てとても驚きました。

私は、高齢者の家に行きました。その方の家の中には大量の泥が流れ込んでいました。使えなくなった家具などもありました。それを見て、水の勢いや怖さを強く感じました。私は少しでも役に立てるようにと、両親がかき出した泥を袋に詰めたり、水で腐った床板を片付けたりしました。とても、暑くきつかったのですが、少しでも役に立てるならという思いで頑張りました。私が作業をしていると家の方が私に声をかけてくださいました。災害が起こったときの状況や、今は二階で生活していることなどを教えてくださいました。私は「久しぶりに人と話してうれしかった。」と言われたのが心に残りました。今もとても怖い気持ちで生活していたり、人とゆっくり話せないほど大変な思いをされたんだなと思いました。

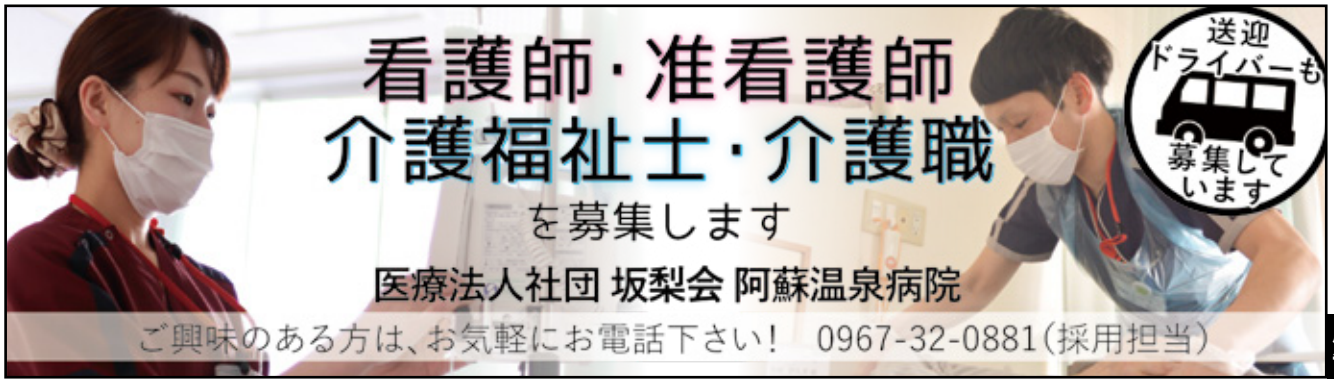
私も新型コロナウィルス感染予防のため、学校が休校になっていて、友達とあまり話せなかったときがありましたが休校が終わり、友達と久しぶりに話したり、一緒に笑ったりしてとても安心しました。道徳の授業で福祉施設でのボランティアについての話を読んで、今回の自分の体験と重なると思いました。ボランティアに行くまでは、不安だったり、積極的でなかったりしましたが、実際に現地の人たちと触れ合って、（またしてみたい）（苦しんでいる人を少なくしたい）と思うようになりました。

クラスでも困っている人がいるかもしれないという気持ちで、声をかけていけたらと思います。そして、人の役に立ち、支えられるような仕事に就きたいと思います。

先生からのコメント

愛花さんは日頃から誰にでも気を配り生活をしています。今回ボランティアに参加したことで、相手の立場に立って物事を考えることの大切さをさらに強く感じたことでしょう。そして、人の役に立ちたい、支えたいという思いの高まりは、これからの様々な場面や生き方に大きくつながると思います。私たちも周囲の人との関わりの中で相手の立場に立った言動をしなければならないと思いました。

令和2年度 阿蘇市人権作文集「かけはし」より　**※学年は令和2年度時点。**



結　婚

（9月30日受付分まで）

夫	・	妻	（行政区）
吉田　昌寛	・	迫　理沙	（北２区）
江藤　功裕	・	山口　小波	（古神3区）
古木　雄一	・	濱石　千里	（古閑）

赤ちゃん

（9月30日受付分まで）

赤ちゃん	誕生日	パパ・ママ	（行政区）
横田　結衣ちゃん	8月25日	健生・善恵	（内牧2区）
河津　奈那ちゃん	8月28日	直明・春菜	（乙姫）
永野　月渚ちゃん	9月1日	・桃花	（東黒川）
榊　大飛くん　湊人くん	9月7日	健士朗・実春	（下の原）
倉岡　愛心ちゃん	9月13日	昂輝・彩佳	（北黒川）
松永　想生くん	9月14日	秋年・梓	（分1区）
本田　莉愛那ちゃん	9月21日	寿希亜・彩華	（蔵原）
橋本　早緒理ちゃん	9月21日	寛史・優里	（古神1区）

10月号寄付欄に名前の誤りがありました。
訂正してお詫びいたします。

正　嶋川　辿さん
誤　嶋川　辿さん

米　寿

（昭和8年9月生まれ）

氏名	（行政区）	氏名	（行政区）
宮川　幸子	（町1区）	田上　悟	（内牧5区）
坂梨　豊	（西3区）	江藤　サチ子	（小里）
宿利　啓子	（分1区）	岩下　幸子	（西町）
中川　マサ子	（下町）	山内　瑠璃子	（南黒川）
山下　安	（桜町）	後藤　廣子	（元黒川）
和田　基	（古城5の2区）	奥田　ミチコ	（上西黒川）
園田　盡	（西下原）	中本　セイ子	（乙姫）
後藤　フサ子	（荻の草）		

寄　付

阿蘇市社会福祉協議会（香典返し）

（9月30日受付分まで）

寄付者	続柄	物故者	（行政区）
田島　ミチ子	亡夫	松男	（北２区）
岩下　ナス子	亡夫	幸治	（古城1区）
髙木　信一	亡母	光子	（内牧1区）
林　須磨子	亡夫	安治	（内牧2区）
三城　清子	亡夫	徳則	（本村）
森田　勝子	亡母	オヨシ	（赤水）
家入　賢一	亡妻	エツ	（赤水）
坂梨　鐵男	亡妻	ノブエ	（狩尾1区）
坂﨑　優征	亡母	豊代子	（跡ケ瀬）
益田　千秋	亡父	久己	（跡ケ瀬）
古澤　博幸	亡父	孝幸	（赤仁田）

人の動き

（2021年9月30日時点）

	人口	（男性）	（女性）	世帯
人数・世帯数	25,297人	11,996人	13,301人	11,590世帯
前月比	12人増	2人増	10人増	13世帯増

（9/1～9/30）

出生	死亡	転入	転出
12人	26人	68人	45人

広告

個人の方へ　遺言・遺産相続・借金・離婚・成年後見・交通事故など
企業の方へ　企業法務・労働問題・紛争トラブル・商標・著作権など
幅広く取り扱っております　お気軽にご相談下さい
完全予約制
相談料／30分　5500円
受　付／9：00～17：30（土日祝休）
法テラスもご利用いただけます
熊本・荒尾事務所もございます

熊本県弁護士会所属
弁護士　吉田孝充
弁護士　松岡智之
弁護士　髙瀬真哉
弁護士　笠賢太朗

弁護士法人ひのくに
阿蘇市内牧963-11（パチンコプロス駐車場内）
お悩みの際には
TEL 0967-32-3363

9/28 交通事故のない社会へ

阿蘇中央幼稚園の園児が千羽鶴を寄贈

河瀬亜実さん（左）と山内遥生さん（右）

阿蘇中央幼稚園（堀田周一園長）の園児が市役所を訪れ、交通安全祈願の千羽鶴を副市長に手渡しました。

千羽鶴は秋の全国交通安全運動（9月21日～30日）に合わせて園児138人とその保護者が制作。園児を代表して山内遥生（はるき）さん（成川）と河瀬亜実（つぐみ）さん（永草）が「交通安全を祈って折りました」と副市長に千羽鶴を手渡しました。千羽鶴は市役所玄関に展示しています。

10/1 阿蘇の農業を発信

ASO MILK FACTORY オープン

オープン初日、来場者に帽子を配布する阿部牧場の阿部社長（右）

観光施設の「はな阿蘇美」が「ASO MILK FACTORY」としてオープンしました。

7月に先行開業していたカフェと物販部分に加えて、レストランとチーズ工房が営業を開始。チーズ工房では指定管理者である阿部牧場の牛乳を使用したチーズを製造。レストランではチーズ工房のチーズを使用したパスタやピザなどを提供しています。阿部社長は「阿蘇の農業を発信していきたい」と話しました。

10/5 阿蘇市が九州初選出

世界の持続可能な観光地 100 選

認定証を手にする市長

オランダの国際的な認証機関による「世界の持続可能な観光地100選」の2021年版に阿蘇市が初めて選定されました。九州では他に奄美大島と与論島が初選出。

持続可能な観光とは、地域の経済、社会、環境への影響に十分に配慮した観光のこと。草原アクティビティの対価による草原の維持再生や、あか牛のブランディング・PRなど、観光振興と景観保全の取り組みが評価されました。

10/8 読んでね「ONE PIECE」

市教育委員会に 100 巻セット

阿蘇図書館で貸出受付中

県出身の漫画家・尾田栄一郎氏が描く人気漫画「ONE PIECE」の単行本100巻セットが、県から市教育委員会へ贈られました。

県が熊本地震からの復興に向けて取り組む「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」の一環。同作が9月3日に単行本100巻に到達したことを記念し県内各市町村に配布されました。

単行本は10月から阿蘇図書館で貸出しを受け付けています。

全国大会等出場者と結果

●テコンドー　（9.19 ／埼玉県さいたま市）

JOC ジュニアオリンピックカップ　第 14 回全日本ジュニアテコンドー選手権大会

【キョルギ　小学 4 年 男子 +33kg 級　第 3 位】　森本秀虎（ひでとら）（一の宮小 4 年）

【オンラインプムセ　有段　高校生男子　第 3 位】　佐藤太一（たいち）（翔陽高校 2 年／一の宮中出身）

10/11

啓発活動への貢献に評価

阿蘇火山博物館が日本応用地質学会から表彰

火山博物館の岡田常務（左）と池辺館長（右）

市民の防災意識と環境保全の啓発に大きく貢献したとして、阿蘇火山博物館（池辺伸一郎館長）が日本応用地質学会から表彰を受け、市長に報告しました。

長年にわたる火山学の普及活動に加えて、防災教育や自然災害に対する科学的理解の促進などの取り組みが評価されての表彰に、池辺館長は「これからも継続していきたい。環境面でもこれまで以上に貢献できたら」と話しました。

10/8

献血の推進に貢献

阿蘇ライオンズクラブが厚生労働大臣から感謝状

感謝状を受け取った阿蘇ライオンズクラブの柴田会長（右２）

献血運動の推進に関して積極的に協力したとして阿蘇ライオンズクラブ（柴田肇（はじめ）会長）が厚生労働大臣から感謝状を贈呈されました。

同クラブは平成10年度から長年にわたり献血に協力し、令和２年度までに延べ２５００人以上の献血に尽力してきました。阿蘇保健所で小宮智（さとし）同所長から感謝状を受け取った柴田会長は「今後もこれまで以上の活動を続けていきたい」と抱負を語りました。

10/15

「電話でお金詐欺」に注意

関係団体が市内各地で呼びかけ

金融機関を訪れた人に「電話で『お金』詐欺」への注意を呼びかけ

少年警察ボランティア連絡協議会、阿蘇警察署、防犯協会、交通安全協会、市のメンバーらが各地で「電話で『お金』詐欺」の啓発活動を行いました。

阿蘇警察署によると電話で金銭をだましとる「電話で『お金』詐欺」は昨年と比較して約４倍の被害が出ているとのこと。

メンバーらは市内の金融機関やスーパーなどで訪れた人に啓発グッズを配布。「電話で『お金』詐欺にご注意ください」と呼びかけました。

10/14

カッコいい女性の時代へ

Mrs of the Year 熊本大会の受賞者が来庁

奥村おきよさん（左３）はベストスマイル賞を受賞

９月12日に熊本市で開催された「ミセスオブザイヤー熊本大会」の受賞者らが市役所を訪れ、大会や今後の活動について市長に報告しました。

大会は「カッコいい女性」をコンセプトに、内面も競うミセスコンテストで18人がファイナリストとして参加。

阿蘇市から参加し、ベストスマイル賞を受賞した奥村おきよさんは「みんなを笑顔にしたいと思い参加した。逆に元気をもらえた」と話しました。

10/15

次の 10 年へ飛躍誓う

阿蘇中央高校創立 10 周年記念式典

熊本県立阿蘇中央高等学校の創立10周年記念式典が、同校の阿蘇校舎体育館で開催されました。

同校は、平成21年10月に阿蘇高校、阿蘇清峰高校の再編・統合により設置された新設校。市内唯一の高校として、地元からも多くの生徒を受け入れ。近年では、阿蘇神社の拝殿再建の用材に同校演習林の樹木を提供するなど、地域に根ざしたさまざまな活動を行っています。

創立 10 周年記念式典であいさつをする佐藤市長

皿山山頂でひとやすみ。

YAMA GIRL SUMMIT

絶景を背景にパシャリ。

3人並んでパシャリ。

10月9日、市主催の「山ガールサミットin阿蘇」が開催。山を愛する女性向けのイベントに県内外から50人ほどが参加しました。ガイドに地元ガイドのあそBe隊、ゲストにタレントの渕上彩夏さんを迎え、高岳・中岳登山や砂千里ハイキングを楽しみました。

①石を運んで、

②石を敷きつめて、

SUSTAINABLE TOZAN

10月3日、環境省主催の「エンジョイ×サステナブル登山！」が開催。荒廃した登山道を現地にある石材や木材などを使い、自然の力を利用して整備する近自然工法を体験するイベント。参加者は地元ガイドの指導のもと2時間半の修復作業を行いました。

お弁当は地元のカフェのもの。

野の花をパシャリ。

地元ガイドによる山の登り方講座。

中岳山頂、みんなでパシャリ。

砂千里、ゲストの渕上さんをパシャリ。

CAUTION

10 月 20 日の中岳第一火口の噴火により、
噴火警戒レベルが 3 に引き上げられました。
高岳、中岳、杵島岳、烏帽子岳の登山ルートは
すべて通行できません。（10 月 21 日現在）
詳しくは阿蘇山遭難事故防止対策協議会まで
（阿蘇地域振興局内　☎ 0967-22-1114）

おしゃれさんをパシャリ。

③なんども石を運んで、

④なんども石を敷きつめて、

⑤立派な道ができました。

Join us!

Vol.5 Aso J.H.S.

SCHOOL FOR EVERYONE

学校へ行こう、地域に学ぼう。

地域全体で子供たちの学びや成長を支え、
学校を中心として地域づくりを行う。
そんな **地域学校協働活動** について紹介します。

阿蘇中学校

阿蘇中学校では、地域の皆さまとともにコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進が図れるよう「阿蘇中ＣＳ共育目標」を以下のように位置づけています。

ふるさとに誇りを持ち、地域に貢献し、阿蘇市の未来を拓く児童・生徒の育成
～　輝く十五の春を目指す連携・協働の教育活動の充実　～

この目標のもとこれまでさまざまな活動を行ってきました。活動の一部を紹介します。

地域住民、保護者、教職員、生徒による学校ビジョンと課題の共有

阿蘇中ＣＳ共育目標の具現化に向けて自分たちにできることは何かを生徒会執行部、各委員長とともに協議し、具体的な活動に繋げています。

学校運営協議会委員と生徒会役員の地域貢献についての熟議

生徒たちは、大人たちの経験を踏まえた意見を聞くことで、考えの幅が広がり、具体性のある活動を考えることができています。

地域の人材を生かした地域未来塾

１０人の地域の人に学習支援員として協力いただいています。現在、５６人の３年生が、土曜日の午前中に、数学と英語の学習に取り組んでいます。１２月２５日までの予定です。

朝の挨拶運動

地域学校協働活動推進員と連携して取り組んでいます。現在は縦割り学級で週毎に取り組んでいます。挨拶運動のおかげで遅刻者はほとんどいなくなりました。

みなさんも知識や経験を活かしてみませんか？

問 教育課社会教育係　☎ 22-3229

地産地消 Cooking! パッククッキング編

食生活改善推進員協議会

いろどり野菜のサバ缶煮

材料（2人分）

だし

- 干しシイタケの戻し汁…75cc
- 味噌…小さじ1
- 白だし…大さじ1弱
- みりん…小さじ1／2

- 切り干しダイコン…5g
- 干しシイタケ…7g
- じゃがいも…50g
- ニンジン…50g
- ピーマン・赤パプリカ…各15ｇ
- かぼちゃ…25g
- サバ缶（味噌）…1／2缶
- ビニール袋（高密度ポリエチレン）

作り方

1. だしの材料を混ぜ合わせる。
2. 野菜は3cmくらいの長さの細切りにしておく。
3. ビニール袋に1、2、サバ缶（汁ごと）を入れ、袋の空気を抜いて口を縛る。
4. 底に耐熱皿やざるを敷いた鍋にお湯を沸かし、3の袋を入れて蓋をして20分加熱する。

※パッククッキングの詳しいやり方などは、広報あそ10月号の地産地消クッキングをご覧ください。

食改員から一言

肉や魚の缶詰は災害時に不足しやすいたんぱく質を手軽に補うことができます。味付けしてあるので、野菜と和えたりすることで簡単に栄養バランスのとれたおかずを準備することができます。

問健康増進室（一の宮保健センター）☎22-5088

asostagram

@sky_love_soramido_ さん撮影

#my_aso
#おごもり花公園
#こすもす

市では観光情報や市内の飲食店に関する投稿など、インスタグラムで情報を発信しています。市の公式アカウント@asostagramでは、市で撮影した写真だけでなく、#my_asoで投稿された写真も紹介しています。#my_asoをつけて阿蘇を世界に発信しましょう。